

日语 基础语法 超简单

轻轻松松，掌握基础语法

主编◎周庆玲 王升远



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

日语 基础语法 超简单

轻轻松松，掌握基础语法



主编◎周庆玲 王升远

编者◎国蕊 徐芳芳 叶枝



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

内 容 提 要

本书是日语语法学习/复习用书,系统介绍了日语的基础语法,包括名词、动词、形容词、助词等不同类型的词语的语法现象,并将相当于日语能力考 N4/N5 级别的语法条目也酌情安排在各个相应的章节里面,读者可以通过本书对日语初级阶段的学习做一个语法总结和复习,也可以将本书当成初级阶段的语法学习用书。

图书在版编目(CIP)数据

日语基础语法超简单/周庆玲,王升远主编. —上海:上海交通大学出版社,2014

ISBN 978-7-313-11237-8

I. ①日… II. ①周… ②王… III. ①日语-语法-自学参考资料 IV. ①H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2014)第 083352 号

日语基础语法超简单

主 编:周庆玲 王升远

出版发行:上海交通大学出版社

邮政编码:200030

出 版 人:韩建民

印 刷:业荣升印刷(昆山)有限公司

开 本:710mm×1000mm 1/16

字 数:190千字

版 次:2014年5月第1版

书 号:ISBN 978-7-313-11237-8/H

定 价:28.00元

地 址:上海市番禺路951号

电 话:021-64071208

经 销:全国新华书店

印 张:11

印 次:2014年5月第1次印刷

版权所有 侵权必究

告 读 者:如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系

联系电话:0512-57458556

前 言

《日语基础语法》是面向初级日语学习者编写的一本日语语法书。

本书有如下几个特点：

◆有机结合不同的语法体系：目前国内外日语语法书籍的语法体系可分为两种：一种是采用“学校语法”体系，如《新编日语》；一种是采用“日本语教育文法”体系，如《新版中日标准日本语》。读者往往容易混淆。本书将两种语法体系有机结合，对二者不一致的地方加以必要的解释和说明，使读者能更好地领会和掌握这两种语法体系。

◆语法和句型相结合：在详细讲解语法知识点的同时，将该语法点相关联的句型也进行了系统梳理，便于读者融会贯通，理解更透彻。

◆实用例句加译文：本书例句力求简明扼要，通俗易懂，贴近生活。并且每个例句都提供了译文，读者可通过日文与译文的对照学习，理清句子内部的逻辑关系。

◆及时练习加检测：书中配备了相应的练习题，所有的练习题都附有参考答案，便于读者巩固和检测所学知识，收获最佳的学习效果。

◆假名注音标示：为便于初学者和自学者学习，对所有的日语汉字均标注了日语假名。

本书的编写者均为长期奋战于日语教学一线的专业教师，对中国日语学习者的长项和短板有着较为深刻的体认，相信将对读者的日语学习有所帮助。希望这本突出“体系性”、“实用性”和“易学性”的小书既能成为专业学子的益友，又可为一般读者视作入门指津之良师。

由于经验不足、学力所限，框架结构和具体讲解难免有不尽如人意之处，疏漏与错误之处在所难免，敬请读解不吝批评指正。

编 者

2014年5月

目 录

第一章 名词、代词、数词、量词	1
第一节 名词	2
练习(一)	20
第二节 代词	22
练习(二)	28
第三节 数词和量词	29
练习(三)	34
第二章 形容词、形容动词	35
第一节 形容词	36
练习(四)	42
第二节 形容动词	44
练习(五)	48
第三章 动词	49
第一节 动词的意义和分类	50
第二节 自动词和他动词	54
第三节 动词的简体和敬体	59
第四节 ます形(连用形)	60
练习(六)	63
第五节 动词的て形	64
练习(七)	76
第六节 动词のた形	78
练习(八)	82
第七节 动词のない形(未然形)	83

练习(九)	87
第八节 命令形	88
练习(十)	90
第九节 可能形	91
练习(十一)	93
第十节 动词的ば形(假定形)	94
练习(十二)	96
第十一节 动词的意志形/推量形	97
练习(十三)	100
第十二节 被动态	101
练习(十四)	104
第十三节 使役态	105
练习(十五)	108
第十四节 动词连体形	109
第十五节 敬语	110
练习(十六)	116
第四章 助词	117
第一节 助词的性质和种类	118
第二节 格助词	119
第三节 接续助词	128
第四节 副助词	135
第五节 终助词	142
练习(十七)	147
第五章 敬体和简体	153
练习(十八)	158
练习答案	159
参考书目	170

第一章 名词、代词、数词、量词



第一节 名 词

一 名词的意义

名词表示事物、概念的名称,是为了与其他事物区别开来所命名的词。例如:
 花(花)、ペン(钢笔)、今日(今天)、写真(照片)、心(心)、夢(梦想)、東京(东京)、
 魯迅(鲁迅)等。日语名词的最大特点是没有词形变化,它后面接续“が、に、を、
 で、へ”等助词可以构成句子的不同成分。

二 名词的分类

名词的数量多,范围宽,广义上的名词包括普通名词、专用名词、时间名词、代词和数词等多种。本书将代词和数词从名词中分离出来,独立构成章节加以说明。下面对普通名词、专用名词和时间名词的概念作一说明。

1. 普通名词

表示同类事物的共同名称的名词。例如:“先生(老师)”、“学生(学生)”、“友達(朋友)”、“家(家)”、“愛情(爱情)”、“桜(樱花)”等。这些名词并不特指某物,因此称为普通名词。普通名词又可以再分为实质名词和形式名词。以上所举名词都具有实质意义,因此又叫做实质名词。反之,像“こと、もの、わけ、はず”之类的词,形式上是名词却没有或很少有实质意义的名词就叫做形式名词。

2. 专用名词

只表示某一特定事物的名词,包括地名、人名、国名、书名等。例如:“中国(中国——国名)”、“東京(东京——地名)”、“川端康成(川端康成——人名)”、“伊豆の踊り子(伊豆舞女——小说名)”、“北京大学(北京大学——校名)”、“本田(本田——公司名)”等。

3. 时间名词

时间名词是表示时间概念的名词。一般可分为表示某一时点的时点名词和表示时间长短的时段名词。前者如“6時(6点钟)、9月15日(9月15日)”等,后者如“6時間(6个小时)、三日間(三天)”等。

三 名词的用法

名词有如下常用用法:

(1) 名词后接助词“が”、“は”或“も”可作主语。

✱ ^{あき}秋^きが来^きました。/秋天来了。

✱ このりんごはおいしいです。/这个苹果很好吃。

✱ ^り李^{がくせい}さんは^お王^{がくせい}さんも学生です。/小李是学生,小王也是学生。

(2) 名词后接助词“を”作宾语。

✱ ^{せんせい}先生は^{ほん}本^よを^よ読んでいます。/老师正在看书。

✱ ^{アイス}クリーム^をを^た食べたいです。/我想吃冰淇淋。

✱ ^{テレビ}テレビ^をを^み見ますか。/你看电视吗?

(3) 名词后接助词“の”构成定语。

✱ ^ペ北京^{きん}は^{ちゅうごく}中国^{しゅと}の首都です。/北京是中国的首都。

✱ ^{おう}王^{きょねん}さんは^が去年^にの3月^にに^{ほん}日本へ行きました。/小王去年3月去了日本。

✱ これは^{はは}母^{しゃしん}の^は写真^はです。/这是我妈妈的照片。

(4) 名词后接“に”、“で”、“へ”、“と”、“から”等助词构成状语或补语。

✱ ^{だい}大学^{がく}で^に日本語^ごを^{べんきょう}勉強します。/在大学里学日语。

✱ ^{はな}花子^こさんは^{まいにち}毎日^{がっこう}バスで^い学校へ行きます。/花子每天坐公交车去上学。

✱ ^{ともだち}友達^かに^をカメラ^をを^か貸した。/把相机借给了朋友。

✱ ^{わたし}私は^{はは}母^はと^いデパートへ行きました。/我和妈妈一起去了商场。

✱ ^{かいぎ}会議^じは^{はじ}10時から^{はじ}始まります。/会议从10点开始。

(5) 名词后接「です/だ/である」等断定助动词,可以作谓语。

✱ これは雑誌^{ざっし}です。/这是杂志。

✱ 田中^{たなか}さんは学生^{がくせい}だ。/田中是学生。

✱ 北京^{ぺきん}は中国^{ちゅうごく}の首都^{しゅと}である。/北京是中国的首都。

(6) 名词单独构成独立语句节,作呼语。

✱ お母^{かあ}さん、バナナ^たを食べ^たたい。/妈妈,我想吃香蕉。

✱ 太郎^{たろう}、ちょっと^き来て。/太郎,你来一下。

✱ みな^{みんな}さん、お元氣^{げんき}ですか。/大家身体好吗?

四 时间名词的特殊用法

时间名词的特殊性在于它在句中可以直接构成状语。但是,这种用法并不适用于所有的时间名词。

我们根据在句中能否直接构成状语使用,把时间名词分为3类。第一类可以直接构成状语,不用后接助词“に”;第二类必须后接助词“に”才能作状语;第三类可接可不接助词“に”。

(1) 第一类时间名词有:“昨日(昨天)、今日(今天)、今(现在)、さっき(刚才)、先週(上个星期)、今週(这个星期)、来週(下个星期)、去年(去年)、今年(今年)、来年(明年)”等。这类词是随着说话时间的变化,所指时间也要发生变化的时点名词。

✱ 明日^{あした}杭州^{こうしゅう}へ行^いきます。/明天去杭州。

✱ 王^{おう}さんは今^{いま}勉強^{べんきょう}しています。/小王现在正在学习。

✱ 来年^{らいねん}日本^{にほん}へ行^いくつもりです。/打算明年去日本。

(2) 第二类时间名词有:如“10時、9月15日、2008年”等,都是“~年、~月、~日、~曜日、~時”之类的不随说话时间变化的、表示固定时刻的时间名词。

✱ 4月1日^{しがついつにち}に出^{しゅっぱつ}発する。/4月1日出发。

✱ 8時^じに先生^{せんせい}と会^あった。/8点钟跟老师见了面。

✱ 水曜日^{すいようび}に会^{かい}議^ぎがある。/星期三有个会。

(3) 第三类时间名词有“^{ぜんじつ}前日、^{よくじつ}翌日、^{はる}春、^{なつ}夏、^{あき}秋、^{ふゆ}冬、^{はるやす}春休み、^{なつやす}夏休み、^{ふゆやす}冬休み”等。这些词所指的时间，有的是由“现在”以外某个特定时间之间的相对关系决定的，有的则具有一定的期限范围。

✳ ^{そつぎょうしき}卒業式の(^{よくじつ}翌日/^{よくじつ}翌日に)パーティーがありました。/毕业典礼的第二天举行了酒会。

✳ (^{ふゆやす}冬休み/^{ふゆやす}冬休みに)家族といっしょに^{かぞく}家族といっしょに^{りょこう}旅行をしました。/寒假里和家人一起去旅游了。

五 形式名词的用法

形式名词是名词的一种，是指形式上是名词但不具有实质意义的一类名词。形式名词不能单独使用，只能和修饰它的定语(连体修饰语)一起使用。形式名词一般用假名书写。

常用的形式名词有：こと、もの、の、ところ、わけ、はず、ため、つもり、ほう、まま、とおり、うえ等。

1. こと

形式名词“こと”是从实质名词“^{こと}事”转化来的。它表示抽象的事物或概念。

✳ ^{かれ}彼は^{にほんご}日本語で^{うた}歌を^{うた}歌う^{こと}ことが好きです。/他喜欢用日语唱歌。

✳ ^{はなこ}花子さんにとって、一番^{いちばんたの}楽しい^{こと}ことは何ですか。/对花子你来说，最快乐的事是什么？

以下是由「こと」构成的惯用句型。

(1) ~の^{しゅみ}趣味は~ことだ

表示兴趣、爱好。相当于汉语的“……的兴趣爱好是……”。它的接续方式为：动词的基本形+こと。

✳ ^{わたし}私の^{ほん}趣味は^よ本を読むことです。/我的兴趣是看书。

✳ ^{わたし}私の^{しゅみ}趣味は^た食べることです。/我是吃货。

注意：用「动词的基本形+こと」的形式可以将兴趣的内容表现得比只说名词更为具体。

✳ ^{わたし}私の^{しゅみ}趣味は^{おんがく}音楽です。/我的兴趣是音乐。

❖ 私^{わたし}の趣味^{しゅみ}は音楽^{おんがく}を聞く^きことです。/我的兴趣是听音乐。

(2) ~の夢^{ゆめ}は~ことだ

表示梦想、理想。相当于汉语的“……的梦想是……”。它的接续方式为：动词的基本形+こと

❖ 私^{わたし}の夢^{ゆめ}は先生^{せんせい}になる^なことです。/我的梦想是当老师。

❖ 私^{わたし}の夢^{ゆめ}は好きな人^すと結婚^{けっこん}する^すことです。/我的梦想是和喜欢的人结婚。

(3) ~ることがある

表示时常或有时发生的事情。相当于汉语的“有时……”、“时常……”。它的接续方式为：动词的基本形+ことがある。

❖ わたしは体^{からだ}が弱^{よわ}くて、ときどき病^{びょう}気^きすることがある。/我身体弱，有时生病。

❖ 彼^{かれ}には会^あうことがある。/时常见到他。

❖ 朝^{あさ}はバスに乘^のれないことがある。/早晨有时坐不上公交车。

(4) ~たことがある

表示曾经有过某种经历。相当于汉语中的“曾经……过”。它的接续方式为：动词た形+ことがある。

❖ わたしは富士山^{ふじさん}に登^{のぼ}ったことがあります。/我登过富士山。

❖ 北京^{ぺきん}へ行^いったことがありますか。/你去过北京吗？

❖ それについて深く考^{ふか}え^{かんが}たことがない。/没有就那个问题深思过。

(5) ~ことができる

表示能力、许可、可能。相当于汉语中的“能……”、“能够……”、“会……”。它的接续方式为：动词连体形+ことができる。

❖ 日本語^{にほんご}を話^{はな}すことができます。/会说日语。

❖ 今日^{きょう}は病^{びょう}気^きですから、学校^{がっこう}に行^いくことはできません。/今天病了，所以不能去学校。

❖ その計画^{けいかく}は実^{じつ}現^{げん}することができると思う^{おも}か。/你认为那项计划能实

现吗？

- ✳️ この施設は誰でも利用することができる。/这里的设施谁都可以使用。

(6) ～ことだから

表示原因、理由。用于对说话人、听话人都熟悉的人物的性格或行为习惯等作出判断。需要灵活翻译。主要接表示人或物的名词。

- ✳️ 彼のことだから どうせ時間どおりに来ないだろう。/你还不知道他，反正不会按时来的。
- ✳️ 戦争中のことだから、何が起こるかわからない。/因为是战争年代，所以不知道会发生什么事。

(7) ～ことにしている

表示自己的某种习惯。相当于汉语中的“坚持……”、“一直……”等。它的接续方式为：动词连体形＋ことにしている。

- ✳️ 每晚10時に寝ることにしている。/我坚持每天晚上10点钟睡觉。
- ✳️ 結婚以来、給料は妻に渡すことにしている。/结婚以后，我一直把工资交给妻子。
- ✳️ 毎朝、健康のために早起きすることにしています。/为了健康我坚持每天早起。

(8) ～ことにする

表示个人主观做出某种决定，下某种决心。相当于汉语中的“决定”。它的接续方式为：动词的连体形＋ことにする。

- ✳️ 彼は風邪を引いたので、学校を休むことにした。/他患了感冒，不打算去学校了。
- ✳️ この本を買うことにした。/决定了买这本书。
- ✳️ これからは、甘いものは食べないことにしよう。/打算今后不吃甜食了。

(9) ～ことになる

表示客观上做出的决定或事物发展的趋势、结果。相当于汉语中的“规定……”、“决定……”或“就会……，该……”。它的接续方式为：动词的连体形＋ことになる。

- ✳ ^{らいしゅう}来週、^{ペキン}北京へ出張することになりました。/定于下周去北京出差。
- ✳ ^{かいしゃ}会社をやめることになりました。/结果辞去了公司的工作。
- ✳ ^{がっこう}学校で5時間、^{うち}家で3時間、^{ぜんぶ}全部で8時間勉強することになる。/在学校学习5个小时，在家学习3个小时，每天总共学习8个小时。
- ✳ ^{みち}あの道を行ったら、^いもとの所^{ところ}に逆戻りすることになるよ。/走那条路的话，就会返回老地方了。

(10) ～ことになっている

表示约定、日常生活的规定、法律、纪律以及一些惯例等约束人们行为的各种规定。相当于汉语中的“规定……”。它的接续方式为：动词的连体形＋ことになっている。

- ✳ ^{ゆうしょう}優勝した人だけに^{ひと}賞品^{しょうひん}を与えることになっている。/规定奖品只发给优胜者。
- ✳ ^{やす}休むときは学校に^{がっこう}連絡^{れんらく}しなければならないことになっている。/学校规定，学生请假不来上课时必须事先与学校取得联系。
- ✳ ^{かいしゃ}この会社では社員は一年に一回^{しゃいん}健康診断^{いちねん}を受けることになっています。/这个公司规定职员每年接受一次体检。

(11) ～ことだ

讲述在某种情况下更加理想的状态或更加好的状态，表示对对方提出较为强烈的劝告或要求。是一种口语形式。相当于汉语中的“最好……”、“应该……”。它的接续方式为：动词的连体形＋ことだ。

- ✳ ^{かい}風邪を早く^{はや}治すには、^{なお}ゆっくり寝ることだ。/要想尽快治好感冒，最好多休息。
- ✳ ^{ごうかく}合格したかったら一生懸命勉強することだ。/想要及格，最好是用功学习。
- ✳ ^{ひとまえ}人前では余計なことは言わないことだ。/在众人面前最好不要多嘴。

(12) ～ことに(は)

前面接表示瞬间感情活动的词语,用来表示对后续事物作感情色彩上的评价。相当于汉语中的“……的是”、“令人……的是……”。它的接续方式是:“动词/形容词/形容词动词”的连体形+ことに(は)。

✳ 誰かに見られると困ると思ったが、幸さいわいなことに、誰にも見られなかった。/我想要是被人看见就麻烦了,幸运的是,没被任何人看见。

✳ 驚おどろいたことに、何百人もの人がここに集あつまっている。/令人吃惊的是居然有好几百个人聚集在这里。

✳ おもしろいことに、私わたしがいま教おしえている学生は、私わたしが昔むかしお世話せわになった先生せんせいの子どもこどもさんだ。/有趣的是我现在教的学生是曾经教过我的老师的孩子。

(13) ～ことはない

表示没有必要。相当于汉语中的“无需……”、“不必……”。它的接续方式为:动词的基本形+ことはない。

✳ 心配しんぱいすることはない。/不必担心。

✳ 電話でんわをかけることはない。/用不着打电话。

✳ 彼かれに同情どうじゅうすることはない。/无需同情他。

(14) ～ことか

前面多与“どんなに”、“なんと”、“どれほど”等副词呼应使用,表示强调、感叹,是强烈的肯定。

✳ 長い間ながあいだ、どんなに会あいたかったことか。/一直以来,是多么地想见你啊。

✳ とうとう成功せいこうした。この日を何年ひなんねん待っていたことか。/终于成功了。这一天盼了多少年啊。

(15) ～ことなく或～ことなしに

用于句子的中顿。表示本来有可能做或者出现的事情,却没有做或者不出现。一般用于书面语。相当于汉语中的“不……(就……)”。它的接续方式为:动词基本

形+ことなく/ことなしに。

❖ 雪は止むことなく降りつづいている。/雪不停地下着。

❖ 山田さんは20年間休むことなく会社に通った。/山田先生在公司工作20年,从没请假休息过。

❖ 彼は先生にも友達にも相談することなく、帰国してしまった。/她没跟老师及朋友们商量就回国了。

(16) ～こと

用于句末,以严厉的口吻表示忠告、命令。是一种规定纪律或指示应遵守事项的表达式,多用于书面形式。它的接续方式为:“动词/形容词/形容动词”的连体形+こと/名词+の+こと。

❖ 朝8時に出勤すること。/早上八点上班。

❖ 教室では、タバコを吸わないこと。/在教室里不准抽烟。

❖ 図書館から借りた本は、一週間以内に返すこと。/从图书馆借的书要在一周内归还。

2. もの

形式名词“もの”是从实质名词“物”或“者”转化来的。由“もの”构成的常用惯用形如下:

(1) ～ものだ

它的第一个含义表示按照社会常识、习惯或道德规范等应该这样做。相当于汉语中的“应该……”、“应当……”。它的否定形式是“……ものではない”。它的接续方式为:动词的基本形+ものだ。

❖ 親の言うことは聞くものだ。/应该听父母的话。

❖ 自分のことは自分でするものだ。/自己的事应该自己做。

❖ 人の悪口を言うものではない。/不该说别人的坏话。

❖ 動物をいじめるものではない。/不要虐待动物。

它的第二个含义表示常识性、倾向性、规律性事物的必然结果。相当于汉语中的“本来就是……”、“自然是……”。它的接续方式为:“动词/形容词/形容动词”的连体形+ものだ。

✱ 年をとると目が悪くなるものだ。/一上年纪,视力自然会不好。

✱ 人の心はなかなかわからないものだ。/人心叵测。

✱ 金というのはすぐなくなるものだ。/钱总是很快就花光的。

它的第三个含义表示对某事物的感慨、吃惊或感叹的语气,“真是……”、“竟然……”。它的接续方式为:“动词/形容词/形容词动词”的连体形+ものだ。

✱ 時がたつのは、ほんとうに速いものだ。/时间过得真快呀。

✱ 昔のことを思うと、いい世の中になったものだと思う。/想想过去,世道真是变好了。

✱ もう一度若くなりたいものだ。/真想再年轻一次啊。

它的第四个含义表示怀着感慨的心情回忆过去经常发生的事情。相当于汉语中的“过去常常……”。它的接续方式为:“动词/形容词/形容词动词”的た形+ものだ。

✱ 若いころはよくけんかをしたものだ。/年轻时真没少打架。

✱ 2人でよく遊んだものだ。/以前两人常在一起玩。

✱ 学生のころは、この部屋で夜遅くまで酒を飲み、歌を歌い、語り合ったものだ。/学生时代经常在这间屋子里喝酒、唱歌,聊到很晚。

(2) ~ものだから

表示原因、理由。常用于会话中强调个人的意料之外的、非本意的理由,用于致歉或辩解。它的接续方式为:“动词/形容词/形容词动词”的连体形+ものだから。

✱ 駅まであまりに遠かったものだから、タクシーに乗ってしまった。/到车站太远了,就打了一辆出租车。

✱ 彼はもう知っていると思ったものだから、伝えませんでした。/我以为他已经知道了,所以没通知他。

✱ 急に寒くなったものだから、風邪を引いてしまった。/突然降温,所以感冒了。

(3) ~だもの/~ですもの

表示说明理由,进行辩解,多用于年轻女子或儿童的口语中,带有撒娇的语感。更随意的说法是“~だもん”。相当于汉语中的“因为……嘛”。它的接续方式为: